

ひかりのこ

11月園便り

聖ミカエル幼稚園
2017年10月20日

月主題：一緒に

『優しい心を育む』

10月、11月は入園を視野に入れて幼稚園の見学を希望される方が多く、多い時には週に3、4人の見学の方がいらっしゃいます。中にはお子さんがまだ1歳の方もいて、保護者の皆様の意識の高さが伺えます。

私は、パンフレットを開きながら、聖ミカエル幼稚園の特色を説明します。中でも力を入れて説明するのが、『キリスト教による保育』『自己肯定感』『優しい心』『絵本による保育』を大切にしている点です。

先日、卒園したお子さんのお母さんが、小学校の前期の通知表を持ってきて見せてくださいました。お母さんから了承を得ていますので、一部をご紹介します。

「話し方がずば抜けて上手なAさん。自分の言いたいことがどうすれば友達にうまく伝わるかを考えて、順序を考えたり、言葉を選んだりしてわかりやすく表現することができます。Aさんの話し方は、聞いている人の心に響きます。さりげない気遣いができるのもAさんの素晴らしい魅力の一つです。友達の手助けが必要になった場面では、『一緒に手伝ってもらっていいかな。』と相手を気遣いながら声をかける姿には感心しました。……」

この文章を読んで、うれしくて涙が出ました。卒園して、小学校で子どもたちがすくすくと育っていることに、まず感謝しました。また、なんと細やかな優しい視点で、子どもを見る担任の先生でしょう。学ぶべきことがたくさんあります。この通知表を見せてくださったお母さんにも感謝です。共にお子さんの成長を喜び合える機会を与えてくださったからです。

そして、もしこのお子さんがこのような姿に育っている一端が、聖ミカエル幼稚園で3年間過ごした成果だとしたら、どんなにうれしいことでしょう。

聖ミカエル幼稚園の子どもたちは、とても穏やかです。クラスの中に優しい雰囲気がいっつもあります。先生方は大声を出しません。小さな優しい声でも、子どもたちがよく聞くような、話し方をします。それでいて、外で遊ぶときには、子どもたちは元気いっぱい、みなきらきらしています。また、絵本の読み聞かせや、聖書のお話を一心に聞いているときの子どもたちの表情は、とても素敵です。小さな頭の中で、どんな景色を思い浮かべているのだろう、と想像すると、こちらワクワクしてきます。

このように、神様や、たくさんのお大人や、お友達に愛されて、豊かに過ご

す毎日が、子どもたちの心を優しく、穏やかにするのもかもしれません。

これからも、聖ミカエル幼稚園は、優しい心を育む保育を行っていきたいと思います。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「なぜ礼拝に？」

このところ、選挙がらみで「リセット」という言葉が目立っています。残念ながら、あまり良い意味ではなく、「リセット」した人の冷たさが印象に残ってしまいました。しかしながら、自分自身をリセットすることなら、私たちににとって必要なことかも知れません。

生きていると、いろいろな後悔や不安な気持ち、あるいは突然の苦しみや悲しみに出会います。また、忙しさの中で、大切なことを見失っている自分に気がつくこともしばしばです。そんな時、ほんの少しの時間ですが生活の場を離れ、自分をリセットし、心に活力を与えてくれる機会があれば、私たちの生活はより上質になるはずで、クリスチャンはその機会を礼拝に求めます。他にも礼拝に来る理由は様々ですが、共通しているのは、自分を心から愛してくれる存在があることに触れて、安心することだと思います。

日曜日、午前10時半の聖ミカエル教会の礼拝は、ささやかな時ですが、クリスチャンではない方々にとっても、貴重な機会になると信じています。お家の宗教が違っていても構いません。教会の礼拝、ミサとは、教会に所属している人々だけのものではなく、すべての人に開かれています。敷居が高いと感じられる方もおられるでしょうが、そこに集うのは聖人君子ではなく、みんな同じような感情をもつ普通の人々なのです。礼拝では、祈ったり、歌ったり、黙ったりと、一見難しそうですが、ただ黙って座っていることも許されます。肩の力を抜いて、自分をリラックスさせることもできるでしょう。そして、真剣に祈る人々の姿を見て、勇気づけられることもあるかも知れません。

神様の導きで、お子様がこの幼稚園に入園してくださいました。せっかくのチャンスですから、どうぞ安心して、お気軽に日曜日の礼拝にご出席ください。

チャプレン 司祭 下澤 昌